

トピックスのとびら



図書館には図書、雑誌、地域資料、新聞、インターネット
といったたくさんの情報のとびらがあります。

そのとびらを開いて、時事的な話題を複合的な視点から紹介します。

No.35

(2008. 8)

医療崩壊

2008年6月18日、厚生労働省は「医療確保ビジョン」を発表し、これまでの医学部定員抑制から医師の増員へと方針を転換しました。しかし、定員を増やしても、実際に医師が増えるまでには10年かかります。医者不足は、すでに顕在化しています。特に、激務で訴訟リスクも高い産科や小児科の医師不足が目立ち、地域の中核病院で産婦人科や小児科の休診や閉鎖が相次ぎました。一方で「コンビニ受診」やモンスターパシエントといった医療を受ける側の問題も指摘されています。医療について考えるための資料をあつめました。



図書のとびら

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
医療再生は可能か	川渕孝一	筑摩書房	2008	498.13-44
医療と法を考える 救急車と正義	樋口範雄	有斐閣	2007	498.12-175
医療の限界	小松秀樹	新潮社	2007	498-256
患者漂流 もうあなたは病気になれない	中野次郎	祥伝社	2007	498.02-89
ドキュメント医療危機	田辺功	朝日新聞社	2007	498.02-96
ドクターヘリ 導入と運用のガイドブック	小濱啓次 ほか	メディカルサイエンス社	2007	317.79-45
まちの病院がなくなる!? 地域医療の崩壊と再生	伊関友伸	時事通信出版局	2007	498.16-148



雑誌のとびら

記事名	雑誌名	巻号	請求記号
特集/産めない国 ニッポン	Aera	1116号[2008.7.7]	Z051-203
特集/病院格付け	週刊ダイヤモンド	4232号[2008.6.14]	Z330.5-49
特集/緊急ワイド・崩壊! ニッポンの医療	週刊朝日	4881号[2008.5.30]	Z051-47
シリーズ「医療砂漠」に行く 第1部 お産が危ない 第1弾~第5弾	読売ウイークリー	3095,97,3102,14,15号 [2007.9.30,10.14,11.11,08.2.3,10]	Z051-114
特集 医療崩壊をくい止める	世界	775号[2008.2]	Z051-3
特集=医療崩壊—生命をめぐるエコノミー	現代思想	36巻2号[2008.2]	Z105-9
特集 医療崩壊の行方	中央公論	1485号[2008.1]	Z051-4
医療と司法—対立するしかないのか	論座	151号[2007.12]	Z051-551

記事名	雑誌名	巻号	請求記号
特集 医療崩壊と患者学のすすめ	教育と医学	654号[2007.12]	Z374-70
ニッポンの医者・病院・診療所 - (医療非常事態宣言)	週刊東洋経済	6110号[2007.11.3]	Z330.5-2
医療崩壊への連鎖を断つ	ガバナンス	77号[2007.9]	Z318-546
特集/医療の現場	潮	583号[2007.9]	Z051-86
特集 病院が崩壊する	中央公論	1478号[2007.6]	Z051-4
特集 医療を崩壊させないために	学術の動向	134号[2007.5]	Z061-501



新聞のとびら

記事名	新聞名	掲載日	頁
蘇れ医療 (不定期連載)	日本経済新聞(朝)	08.5.22.-7.20	
常勤医減る公的病院 新研修制、大学が「引き揚げ」	東京新聞(朝)	08.7.18	p1,26
救命士活用、高まる声 現行法は救急車で活動に限定	朝日新聞(朝)	08.7.18	p3
医療をまもる (不定期木曜連載)	東京新聞(朝)	08.5.29-7.17	
がん拠点病院の3割で医師不足 朝日新聞社調査	朝日新聞(朝)	08.7.3	p1
質問なるほど: 医師不足の原因は何?	毎日新聞(朝)	08.7.2	p3
医師不足で改革急務、大学の医局、法人化に活路—求められる透明	日本経済新聞(朝)	08.6.29	p33
ママさん医師やめないで、人手不足で両立支援加速—職場環境にもプラス	日本経済新聞(夕)	08.6.24	p13
医療再生へ 選択のとき (毎週日曜連載)	朝日新聞(朝)	08.4.6-6.22	
[解説]厚労省「増員」表明、医局の「人員配置」崩壊	読売新聞(朝)	08.6.19	p12,2
小児科を守れ/上・中・下 (3週連続日曜連載)	毎日新聞(朝)	08.5.25-6.8	
産科医不足で高まる期待、助産師復権、お産支える—外来も担当	日本経済新聞(夕)	08.6.2	p11
IT化で開業医が減る?—高齢医の引退早める	日本経済新聞(夕)	08.5.26	p16
麻酔科医の不足、深刻 激務が限界、次々退職 緊急手術、やむなく休止	朝日新聞(朝)	08.5.13	p3
【ルポにつぼん】救急 過酷な現場 手術・当直...39時間勤務	朝日新聞(朝)	08.4.7	p1,2
救急難民、続出 呼吸困難の70代、連絡50回目で受け入れ 骨折男児は35回目	朝日新聞(夕)	08.3.11	p15,1



地域資料のとびら (神奈川の新聞記事)

記事名	新聞名	掲載日	頁
医師不足:産科医、県内でも 分娩医療機関、1年間で5カ所減の155カ所	毎日新聞(朝 横浜版)	08.6.23	p25
救急搬送先 県が探す	読売新聞(朝)	08.7.10	p18
県の「バンク」苦戦 いまだ医師復職ゼロ	神奈川新聞	08.7.4	p1
2次救急に黄信号 軽症者詰めかけ輪番参加機関も減 現場「制度維持厳しい」	朝日新聞(朝 横浜版)	08.2.19	p27
県外搬送年に100例 広域連携求める声 新生児集中治療室不足深刻 「周産期救急連絡会」討議	朝日新聞(朝 横浜版)	08.4.9	p26



インターネットのとびら

日本医師会ホームページ <http://www.med.or.jp/>

医療関係情報のサイト。潜在看護職員再就職支援モデル事業や女性医師バンクなど、医療従事者の不足を補う取り組みが見られます。「新医師臨床研修制度と医師偏在・医師不足に関する緊急アンケート調査の結果報告」等、日本医師会の活動状況も掲載。また、一般向けの医療情報も掲載されています。

日本テレビ ACTION 「医者不足の真相」のページ
<http://www1.ntv.co.jp/action/theme/02/>

日本テレビ報道局が2008年、1年がかりで日本の難問の真相を掘り下げ、解決のために行動を起こすというプロジェクト「ACTION」のテーマの1つ。過去の放送(動画)や関連ニュース、担当者の取材ノートなどが掲載されています。